

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年4月11日

事業所名：児童発達支援事業所lapoale福岡

保護者等数(児童数)： 43 名 回答数： 42 名

割合：98%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	33	8	0	1		
	②職員の配置数や専門性は適正であるか。	41	0	0	0		
	③生活空間は、本人の分かりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の整備などはバリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適正になされているか。	38	2	0	1		移動の際は、必ずスタッフを配置し手を繋ぐなどの安全対策を行っている事を発信していく。また、柵設置を行うなどの環境整備についても検討を行う。
	④生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	39	1	0	1		
適切な 支援の 提供	⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	41	1	0	0		
	⑥児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	41	1	0	0		
	⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	42	0	0	0		
	⑧活動プログラムが固定化されないように工夫されているか。	39	0	1	1	外遊びがもう少し増えたらいいな。と思います。	活動内容の見直し、頻度の検討を行う。
保護者 への 説明等	⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	22	4	4	12		課外活動を取り入れており、交流があるものの機会が限られているため、どの年齢、利用日でも交流できるよう機会を増やしていく。
	⑩運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	42	0	0	0		
	⑪児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	41	0	0	1		
	⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。	28	4	1	7	利用していない。積極的にしたいなどまでは至っていません。	事業所内や家庭連携での会話、助言の機会を増やしていく。
	⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	39	1	0	1		
	⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	38	2	0	1		家庭連携や事業所内相談などの相談機会がある事を、積極的に保護者に周知していき機会を増やしていく。
	⑮父母の会の活動の支援や保護者会等の開催などにより保護者同士の連携が支援されているか。	3	6	15	18		感染症の状況により、保護者会等の実施検討を行う。
	⑯子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	39	1	0	2		家庭や園での様子について定期的に報告や相談をいただけるよう、保護者に対して積極的にアプローチを行っていく。また、家庭連携や事業所内相談についても、ラポアレ側から定期的に利用のお声がけを行っていく。
	⑰子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	40	1	0	1		
非常時 の 対応	⑱定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	40	2	0	0		
	⑲個人情報の取扱いに十分に注意されているか。	41	1	0	0		個人情報の取扱いについて、契約時の重要事項説明を用いて説明を行っている。保護者の認知度が低い為、改めて周知を行っていく。
	⑳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	36	2	0	4		マニュアルの作成や訓練の実施について契約時にお伝えしているが、定期的に行っている様子などを公式LINEやハグノートなどで発信を行っていく。
満足度	㉑非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているか。	39	0	0	3		訓練を行っている事を周知出来るよう、定期的にハグノートやSNSを活用して発信を行っていく。
	㉒子どもは通所を楽しみにしているか。	39	2	0	0		
	㉓事業所の支援に満足しているか。	41	0	0	0	通所のたびにとても細かく子供の様子を連絡帳に記入していただけているので安心して通わせることができています。いつもありがとうございます。	

# 事業所における自己評価（公表）

公表： 2024年4月11日

スタッフ数： 5名 回答数： 5名

事業所名： 児童発達支援事業所lapoale福岡

割合：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	0		
	②職員の配置数は適切である	5	0	0	0		
	③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	0	0		
	④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	5	0	0	0		
業務改善	⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	0	0		
	⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	4	0	0	0	直接、保護者様の声を聞いて、活動を取り入れたことはある(例:交通安全教室)	
	⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	5	0	0	0		
	⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	0	3	1		
適切な 支援の 提供	⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	5	0	0	0		
	⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	5	0	0	0		
	⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	0		
	⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	0	0		
	⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	0	0		
	⑭活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	0		
	⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	0		
	⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	5	0	0	0		
	⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	0		
	⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	0		
関係機関や 保護者との 連携	⑲日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	0		
	⑳定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	0	児童発達支援事業所である	
	㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	0		
	㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	2	0		
	㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	0	1	0	重心のご利用者様はいません	
	㉔（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	0	1	0	熱性けいれんがあるお子様の対応で、子どもの主治医から意見書を頂き、対応について共通認識できるようにしている。	
	㉕移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	0	0		
	㉖移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	1	0		
	㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	0		
	㉘保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	0	3	0	外遊びでイオン公園で遊ぶ際に、地域の子どもたちと関わる機会はある。	
保護者への 説明責任等	㉙（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等に積極的に参加している	1	0	4	0		
	㉚日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	0		
	㉛保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	0	1	0		
	㉜運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	0		
	㉝児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	0	0		
	㉞定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	0		
	㉟父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	4	0		
	㊱子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	0	個別対応が必要な状況であれば、保護者様と密に連携を図って対応している。	
	㊲定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	1	0		
	㊳個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	0	0		
非常時 等の 対応	㊴障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	0		
	㊵事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5	0		
	㊶緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	0	0		
	㊷非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	0		
	㊸事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	0	0		
	㊹食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	1	0	食事提供は行っていないため、アレルギー確認は詳しく行っていないが、クッキング活動やおやつ買いにて、随時アレルギーがあるかどうかの確認をしている。	
	㊺ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	0		
非常時 等の 対応	㊻虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	0		
	㊼どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	0	0		